

広島市植物公園

見どころ案内

オミナエシ

(オミナエシ科)

秋の七草として知られていますが、実際の開花期は盛夏です。日当たりのいい草地に黄色の花を咲かせます。

展示会のご案内

◇展示温室 (7/18~8/16)
世界の食虫植物展

◇展示資料館 (8/8~8/31)
おし花美術作品展

ウツボカズラ (ウツボカズラ科)

今年の「世界の食虫植物展」はウツボカズラのなかまの展示に特に力をいれており、様々な種類をご覧いただけます。

ドラクラ (ラン科)

花が猿の顔に似ているため、モンキーオーキッド(オーキッドはランの意味)と呼ばれています。いろいろな猿顔が見られますので、見比べてみてください。

サギソウ

(ラン科)

シラサギのような形をしたかれんな白い花が特徴で、当園のシンボルマークにもなっています。フクシア温室内と外に約 6,500 株装飾されています。

ゴールデン

チェーンツリー

(キントラノオ科)

ブラジル原産の常緑樹で、金色の花を鎖状につけるのでこの名があります。全国的にも開花は珍しい花です。

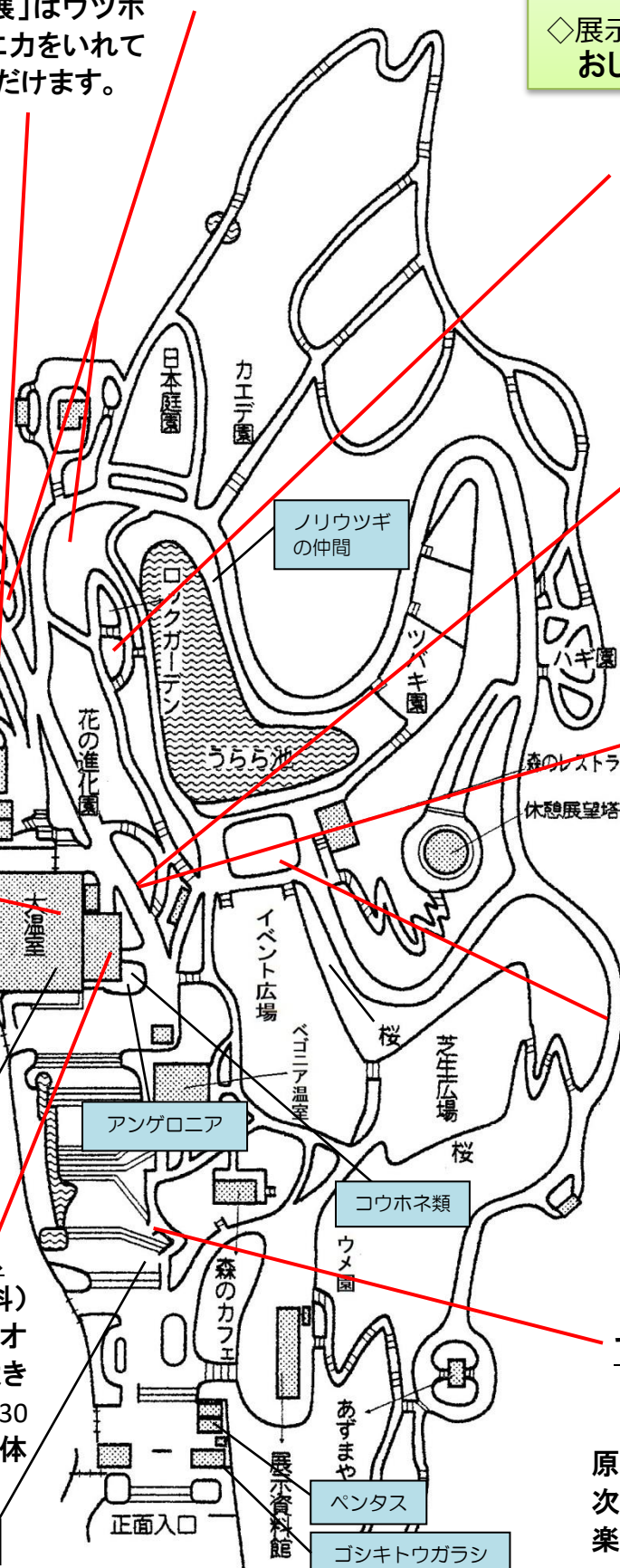
ガッシュウバナナ

ロングウッドオオオニバス

(スイレン科)

オオオニバスとパラグアイオニバスの人工交雑種。葉が大きく成長しており、12 日からは 30 kg 以下の子どもを対象に試乗体験会が始まります(要申込)。

タイタンピカス



アネモネ・フペヘンシス

(キンポウゲ科)

シュウメイギク(秋明菊)の基本変種で、中国原産です。アネモネのなかまは花弁がなく、花弁のように見える部分はがく片です。

オジギソウ (マメ科)

さわると動く不思議な植物で、毎年子どもたちに大人気です。夏から秋にかけてピンク色の可愛い花を咲かせます。

ラッカセイ (マメ科)

漢字では「落花生」。受粉すると花の付け根からつる(子房柄)が伸び、地中で実を結びます。つるが伸び始めている様子をご覧いただけます。

ヒマワリ「サンフィニティ」

(キク科)

通常のヒマワリと違い、一株から何個もの小さなヒマワリを咲かせ続けます。また、一輪の花もちもよいため長く観賞することができます。現在、見頃を迎えています。

マンデビラ

(キョウチクトウ科)

中央アメリカ~アルゼンチン原産のつる性の植物で、花を次々に咲かせるため、長期間楽しむことができます。

❁ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します❁

❁ 毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します❁